ダッシュボードからクラスタのパフォーマンスを監視する

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/performance-checker/concept_monitor_cluster_performance_from_dashboard.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ダッシュボードからクラスタのパフォーマンスを監視する 1
Active IQ Unified Manager のダッシュボードからクラスターのパフォーマンスを監視する 1
Active IQ Unified Manager ダッシュボードのパフォーマンスパネルを確認する 1
Active IQ Unified Manager でパフォーマンスバナーメッセージを解釈する 2
Active IQ Unified Manager でパフォーマンス統計の収集間隔を変更する 2

ダッシュボードからクラスタのパフォーマンスを監視する

Active IQ Unified Manager のダッシュボードからクラスターのパフォーマンスを監視する

Unified Managerダッシュボードには、このUnified Managerインスタンスによって監視されているすべてのクラスターのパフォーマンスステータスの概要を表示するパネルがいくつかあります。これにより、管理対象クラスターの全体的なパフォーマンスを評価し、特定されたイベントを迅速に記録、特定、または解決のために割り当てることができます。

Active IQ Unified Manager ダッシュボードのパフォーマンスパネルを確認する

Unified Manager ダッシュボードには、お客様の環境内で監視されているすべてのクラスターのパフォーマンス状況の概要を表示するパネルがいくつかあります。すべてのクラスターのステータスを表示するか、個々のクラスターのステータスを表示するかを選択できます。

ほとんどのパネルには、パフォーマンス情報に加えて、そのカテゴリのアクティブ イベントの数および過去24時間に追加された新しいイベントの数が表示されます。この情報から、報告されたイベントを解決するために詳細な分析が必要なクラスタを決定できます。イベントをクリックすると、上位数件のイベントが表示され、そのカテゴリのイベントだけを表示する[イベント管理]インベントリ ページへのリンクが表示されます。

次のパネルにはパフォーマンス ステータスが表示されます。

- 性能容量パネル

  すべてのクラスターを表示する場合、このパネルには各クラスターのパフォーマンス容量値（過去1時間の平均値）と、パフォーマンス容量が上限に達するまでの日数（日々の成長率に基づく）が表示されます。棒グラフをクリックすると、そのクラスターのノードインベントリページに移動します。ノードインベントリページには過去72時間の平均パフォーマンス容量が表示されるため、この値はダッシュボードの値と一致しない場合があります。

  単一のクラスタを表示している場合、このパネルには、そのクラスタのパフォーマンス容量、合計IOPS、合計スループットが表示されます。

- ワークロード**IOPS**パネル

  ワークロードのアクティブ管理が有効になっていて、単一のクラスタを表示している場合、このパネルには、特定の範囲のIOPSで現在実行されているワークロードの総数が表示されます。

- ワークロードパフォーマンスパネル

  ワークロードのアクティブ管理が有効になっている場合、このパネルには、定義された各パフォーマンス

サービス レベルに割り当てられている準拠ワークロードと非準拠ワークロードの総数が表示されます。棒グラフをクリックすると、そのポリシーに割り当てられているワークロードが[ワークロード]ページに表示されます。

- 使用概要パネル

  すべてのクラスタを表示している場合、IOPSまたはスループット（MBps）が高い順にクラスタを表示できます。

  単一のクラスタを表示している場合は、そのクラスタのワークロードをIOPSまたはスループット（MBps）が高い順に表示できます。

Active IQ Unified Manager でパフォーマンスバナーメッセージを解釈する

Unified Managerの[通知]ページ（通知ベルからアクセス）には、特定のクラスタで発生しているステータスの問題を知らせるバナー メッセージが表示される場合があります。

バナーメッセージ	説明	解決策
`No performance data is being collected from cluster cluster_name. Restart Unified Manager to correct this issue.`	Unified Managerのデータ収集サービスが停止しており、どのクラスターからもパフォーマンスデータが収集されていません。	この問題を解決するには、Unified Managerを再起動します。それでも問題が解決しない場合は、テクニカル サポートにお問い合わせください。
`More than x hour(s) of historical data is being collected from cluster cluster_name. Current data collections will start after all historical data is collected.`	リアルタイムのクラスタ パフォーマンス収集サイクル以外に、データの継続性収集サイクルによるパフォーマンス データの収集が実行中です。	対処は不要です。現在のパフォーマンス データは、データの継続性収集サイクルの完了後に収集されます。 データ継続性収集サイクルは、新しいクラスターが追加された場合、またはUnified Managerが何らかの理由で最新のパフォーマンスデータを収集できなかった場合に実行されます。

Active IQ Unified Manager でパフォーマンス統計の収集間隔を変更する

パフォーマンス統計のデフォルトの収集間隔は5分です。大規模なクラスタからの収集がデフォルトの時間内に完了しない場合は、この間隔を10分または15分に変更できます。この設定は、このUnified Managerインスタンスで監視しているすべてのクラスタからの統計の収集に適用されます。

開始する前に

Unified Managerサーバのメンテナンス コンソールへのログインが許可されているユーザIDとパスワードが必要です。

パフォーマンス統計情報の収集が時間内に完了しない問題は、バナーメッセージ `Unable to consistently collect from cluster <cluster_name>`または `Data collection is taking too long on cluster <cluster_name>`によって示されます。

収集間隔の変更が必要になるのは、統計の収集に問題がある場合のみです。それ以外の場合は変更しないでください。

> この値をデフォルト設定の5分から変更すると、Unified Managerでレポートされるパフォーマンス イベントの数や頻度に影響する可能性があります。たとえば、システム定義のパフォーマンスしきい値ポリシーでは、ポリシーを超えた状態が30分続くとイベントがトリガーされます。これは、収集間隔が5分であれば、6回の収集で連続してポリシーの違反が検出された場合に相当します。一方、収集間隔が15分の場合は、2回の収集期間のみでポリシーの違反と判断されます。

統計データの現在の収集間隔は、[クラスタ セットアップ]ページの下部のメッセージに表示されます。

手順

1. SSHを使用して、Unified Managerホストにメンテナンス ユーザとしてログインします。

   Unified Managerメンテナンス コンソールのプロンプトが表示されます。

2. 「Performance Polling Interval Configuration」というラベルの付いたメニューオプションの番号を入力し、Enter キーを押してください。
3. プロンプトが表示されたら、メンテナンス ユーザのパスワードをもう一度入力します。
4. 設定する新しいポーリング間隔の値を入力し、Enterキーを押します。

外部データ プロバイダ（Graphiteなど）への接続を現在設定してある場合は、Unified Managerの収集間隔を10分または15分に変更したあと、データ プロバイダの送信間隔もUnified Managerの収集間隔以上に変更する必要があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。